

東京工芸大学大学院芸術学研究科が 創立100周年記念イベント 2022シンポジウム「メディア芸術を学ぶ、教える、創る」の動画を公開

東京工芸大学（学長：吉野弘章、所在地：東京都中野区、以下、本学）大学院芸術学研究科は、創立100周年記念イベント2022シンポジウム「メディア芸術を学ぶ、教える、創る」の動画を本学公式webサイト上で本日公開しました。外部ゲストは第一線で活躍する本学卒業生2名。メディア芸術を「学ぶ」、「教える」、「創る」をキーワードに、メディア芸術の核心・本質に迫ります。

本学は1923年に日本で初めての写真専門の高等教育機関「小西写真専門学校」として創立しました。当初からテクノロジーとアートを融合した教育・研究を推進し続け、2023年に創立100周年を迎えます。

本シンポジウムは2023年に迎える創立100周年を記念し、11月26日（土）に開催されました。主な対象は、メディア芸術を志す高校生や若い世代です。このシンポジウムの目的は、メディア芸術の「今」に広く・深く触れてもらうのももちろん、どのようなことを学ぶのかを知り、より興味をもってもらうことで、卒業後の将来像などを一層具体的にイメージしてもらうことです。

外部ゲストは本学卒業生2名。一人は、公益財団法人東京都歴史文化財団事務局総務課事業担当係長の廣田ふみ氏（本学芸術学部映像学科卒業）。もう一人は、第46回「木村伊兵衛写真賞」を受賞した写真家・吉田志穂氏（本学芸術学部写真学科卒業）。それぞれの指導教員らも交え、メディア芸術の可能性を考えるほか、「学ぶ」、「教える」、「創る」をキーワードに、学生時代に挑戦したこと、後悔したことや飛躍のきっかけになったこと、創造や活動の原動力となっていることなどを縦横に議論しました。

なお、本シンポジウムは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加人数を抑えて開催しましたが、メディア芸術を対象とする本学大学院芸術学研究科並びに芸術学部の特徴ある教育・研究・制作活動の成果を学内外へ広く知ってもらうため、このたび、一般の方向けに本学公式webサイト上でシンポジウム動画を公開することとしました。

本学は今後もこのようなシンポジウムなど、メディア芸術の教育・研究普及のための様々なプログラムを充実・拡大し、新たな100年に向け発信力を加速させていきます。

シンポジウム動画の概要は以下のとおりです。

◆東京工芸大学100周年記念イベント 2022 シンポジウム「メディア芸術を学ぶ、教える、創る」

【動画URL】

https://www.t-kougei.ac.jp/graduate/arts/#activity_content

【内容】

- 開会あいさつ：吉野弘章学長
- セッション1

・開催概要説明・登壇者紹介：石川健次大学院芸術学研究科長

・基調講演：

テーマ「メディア芸術の未来を拓く～多様化するアート×デジタルテクノロジーの諸相」

廣田ふみ氏（アートプロデューサー・文化政策プランナー、公益財団法人東京都歴史文化財団事務局総務課事業担当係長）

・トークセッション：廣田ふみ氏×阿部一直教授（本学大学院芸術学研究科芸術学領域）

■セッション2

・登壇者紹介：石川健次大学院芸術学研究科長

・パネルディスカッション

テーマ「メディア芸術を学ぶ、教える、創る」

登壇者：廣田ふみ氏、大津はつね名誉教授（元 映像メディア領域）、吉田志穂氏（写真家）、勝倉峻太准教授（芸術学部写真学科）

司会：浅野耕平教授（インタラクティブメディア領域）

